

グループ2のまとめ



《多目的広場(建物をしてできるだけ作らない考え方)》

広場のイメージ

何もなければ使い方を工夫できる・子どもは遊び方を考えるもの／子どもが遊べる広い場所／非常時のために広いスペースを残しておいたほうが良い(水害で三条市の競馬場が役に立った例)／芝生と桜並木と散歩道があれば十分(複数)⇔芝生も桜並木も管理費かかる／メモリアルパーク(トイレと駐車場で十分)／水害を後世に伝える場所⇒防災メモリアルの視点／木陰や日陰の場所が必要(複数)／建物は仮設程度で良い／土の地面は砂ぼこりが舞う⇒飛砂防止対策が必要

使い方の問題・課題・提案

遊び:子どもがボール遊び出来る場所／健康づくり:地元の人などが散策やウォーキングをする／凧揚げ:毎月1回の凧揚げ大会(住民)・凧揚げ体験を観光資源に(来訪者)／経済効果:商店街との共存・来訪者がお金を落とすしくみ⇒飲食、宿泊する場所が必要⇒青空市や出張販売などを検討してはどうか／お花見スポット:桜並木を作って人が集まる場所に

《県会館・コミュニティ施設/防災備蓄基地》

構造や設備などのイメージ

雨天でも遊べる屋内施設(出入り自由で子どもも安心して遊べる) ※新潟県は年間3割が雨天/高さは5mくらい、面積は体育館くらい(凧の製作のため)／建設位置:凧揚げの風向きを考慮する、北側に集中させる(複数意見)／メイン施設の西側は駐車場、東側はフリーマーケットや青空市が出来るスペース(軽トラが進入できるように)

使い方の問題・課題・提案

凧製作は3ヶ月間、残り9ヶ月間の使い方を工夫する⇒写真展などイベント/防災備蓄基地としての兼用/健康づくり:施設内にエアロバイクなどの健康器具/建物の前でも物産販売できるような場所が必要

《維持管理についての共通事項》

遊具やグラウンドなど作ったものは何らかの維持管理が必要となる/行政主導で進めることでもいいのか/維持管理に協力するボランティアの報酬や特典も考えるべき

発表内容

発表者:山崎さん

最初は、予算面で何もないけど広い場所で良いのではないかと、という消極的な雰囲気から始まりましたが、やはり夢を描くことも大事という考え方で県会館を検討しました。その他、水害メモリアルの場所、桜並木、散歩道、青空市やフリマができる場所などの意見がでました。



グループ3のまとめ

《多目的広場・森や斜面・子ども広場》

広場のイメージ・使い方

施設は広場のすみに配置し、広場スペースを多く取りたい/森にするのがいいの、広場にするのがいいの/小凧を揚げられるような広場にしたい/遊具がある子どもの広場(駐車場、トイレが必要)／東側外周部分や施設、多目的広場、子ども広場の間あいだに森や桜並木をつくる/雪も少ないのでスキーができるような斜面を作る必要はないが、森の部分には多少の起伏が欲しい

広場の維持管理

芝生広場とするにしても芝刈りなどの管理が大変/「いまなか」で管理運営をする組織を立ち上げる必要がある/施設で収益事業をやって管理費に充てる



《三角の敷地(南側)》

防災機能の充実

近く(中之島)の消防施設を持ってくれば、防災機能を充実させることができる/災害復旧用の資材置き場が必要

使い方の提案(平時)

ここだけでも十分な面積がある⇒お年寄り向けのトリム広場、健康遊具、森、スポーツ広場などが入る広さ/グラウンドゴルフ場/サッカー場をつくれる広さがある

具体的な整備のイメージ

給水塔の公園がもたないないので将来的には一体的な利用が出来るように/橋詰の交差点を十字の交差点に/ここへのアクセス道路の幅を広く整備する/北側の広い部分と一体的に利用したい/資材置き場、公園、いずれにしてもアクセス、駐車場等は必要

《ヘリポート》

平常時には駐車場にしたい/周辺の状況によってはヘリポートの地盤を高くする必要がある

《建物》

凧を作る場所に困っている/施設、駐車場、トイレはセットで/大きな通りから見える位置に施設を配置する/救援物資は直接被災地に持ち込んでも対処できない⇒中継拠点となりうるような施設を

《川沿いの敷地》

水害のモニュメントが欲しいという声もある(特に高齢の方の間で)/ここの北、もしくは南の端に水害のモニュメントを/川沿いの細長い敷地は並木道に

発表内容

発表者: 藤田さん

主にゾーニングについて議論しました。施設や建物は集中させる。広場は中央に配置してイベントやミニ凧揚げができるようと考えました。周辺は桜並木をつくって桜祭りをする。南側の敷地も広いので、交差点に信号をつけて渡れるようにしたいという意見もでした。中之島では慰霊碑の要望があるので、水害を忘れない場所をつくるという提案もありました。



総括と今後の予定

今回の検討においても、皆さんがもっとも盛り上がったのは凧の話題でした。利活用の具体策として「凧会館」というシンボリックな施設のイメージが見えてきました。この施設は防災機能を備え、通年型で利用できる工夫が必要という議論も深まってきました。また、多目的広場は自由度の高い使い方ができるように必要最低限の整備しかないという方針もほぼ固まってきました。大雑把な配置イメージを地図に書き込む作業も進みつつあり、具体性を増してきたところです。次回の第3回検討委員会は、4月22日(水)に今町公民館で開催予定です。中之島も今町も関係なく意見を出し合えるような雰囲気になりつつありますので、今後の検討委員会をぜひご期待ください。

本件についてのお問合せ先



新潟県長岡地域振興局(地域整備部計画調整課)

〒940-8567 新潟県長岡市四郎丸町 173 番地 2 TEL:0258-38-2614 FAX:0258-38-2627